



































チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・毎日の朝礼で経営目標達成に向けた取組みを代表者が発信し、社内 共有・実践している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則の中に法令遵守の規定があり、毎朝朝礼時に代表自ら全従業員 へ向け、法令遵守の重要性を発信している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、その重要性を発信している。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか確認している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として代表者を任命し、バリューチェーン分析を行い企業活動が 社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・当社独自の漏水工事についてのノウハウや営業秘密の保護に取り組んで いる。また他社の知的財産を侵害しないよう、当社の工事手順を遵守し、 施工を行っている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については電子での保管を行い、パスワードを設定し厳重に管 理している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダー に及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投 資家等及び社会全体)	●		・自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、工事を行う際は 近隣住民への説明会を実施している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態 系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄 防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・熊本県建設業協会に所属し、様々な社会問題についての情報共有を行っ ている。 ・甲佐町の建設業協会の会員として、町内の危険個所の把握等、快適で安 全な暮らしを守るため、サプライヤーや事業パートナーと情報交換を行っ ている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策 定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防 ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などについて、社長自ら朝礼時に従業 員にその重要性を伝える他、従業員全員で話し合う機会を提供する事によ り、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹 底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組 んでいる。	●		・毎日の朝礼にて「事故ゼロ」に向けて代表者より発信し、現場での事故防 止に取り組んでいる。 ・労働安全コンサルタントによる安全パトロールを実施し、事故を未然に防 ぐ取り組みを行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応してい る。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った従業員の公正な待遇を行ってい る。また、退職慰労金の制度を設けている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両 立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・原則残業を行わない体制を整備しており、ワークライフバランスを推進し ている。 ・お盆や年末年始については長期休暇を設けており、従業員の余暇の充実 に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・講習会の受講や資格取得の経費補助を行っている。 ・CPDSの受講を通じて技術力の向上に取り組んでいる。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等 に取り組んでいる。	●		・現場毎に休憩室を設け、熱中症対策を行っている。 ・社員の健康診断の受診補助を行い、従業員の健康に配慮している。 ・【予定】令和8年5月までに健康経営優良法人に認定される。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる 環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等の人種、性別などの違いによる差別的待遇はな い。 ・育児休暇制度が取得可能な体制整備を行い、ダイバーシティ経営に取り 組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワー クや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・WEB会議システムを導入しており、WEBセミナー受講等新しい生活様式 への対応を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業 務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・測量機器については最新型の機器を導入しており、測量結果を自動的に 記録する等、業務の正確性や効率性が向上し労働時間の削減に繋がって いる。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12					

















チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・現場での産業廃棄物の分別を徹底して行っており、分別後は産廃業者に て適正処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り 組んでいる。	●		・使用する重機は省エネの機械を優先して導入、レンタルを行っている。 ・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用して電力・燃料の使用 量を把握し、削減に向けて取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・使用する重機は排ガス抑制型の機械を優先して導入、レンタルを行って いる。 ・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用してCO2の排出量を 把握し、削減に向けて取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように 配慮している。	●		・河川工事の際には汚濁防止の為にフェンス等で仕切りをし、環境に悪影 響を及ぼさないよう配慮している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュ ース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・建物の解体や、工事から発生するガードレール等廃棄物については、鉄 筋、切断くずをリサイクル業者への持込みを実施し、持続可能な循環型社 会の確立に貢献している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川工事の際の汚濁防止等、本業を通じて水資源の保全に取り組んでい る。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入に基づいた環境に配慮した事務用品の利用を促進してい る。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所周辺に植栽や花を植え、緑の創出と保全に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能 エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・使用する重機は省エネの機械を優先して導入、レンタルを行っている。 ・工事の際には太陽光を利用した掲示板、矢印版、チューブライト等の再生 可能エネルギーを使用した機器を積極的に使用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推 進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染 の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車な どの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	【予定】令和8年5月までに熊本県エコ通勤環境配慮計画書の作成を行う。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んで いる。		●	【予定】令和8年5月までに熊本県温暖化対策計画書の作成を行う。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・労働安全コンサルタントによる安全パトロールを実施し、施工時の安全性を確保している。 ・看板を見やすい位置に配置し、サービスの安全性に配慮している。 ・施工後に積極的にアフターフォローを行い、工事品質の向上に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事業所内については極力段差をなくし、誰もが利用しやすい事業所づくりを行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・工事で使用する資材は、熊本県産の材料(砕石、木材)を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害協定に基づき災害時に道路や法面の補修、がれきの撤去等の復旧工事に取り組んでいる。 ・地元の神社の改修工事や、ロードクリーンボランティア活動等地域の活動に積極的に取り組んでいる。 ・くもとマイ・リバー・サポート協定に基づき河川敷の清掃、除草に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社内で緊急時連絡組織表を作成する他、事業所に水の備蓄を行い、防災対策に取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・熊本県や甲佐町と災害協定を締結し、地域防災の担い手として認識を持ち防災に取り組んでいる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGs委員会メンバーを選定し、事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、金融機関との定期的な連携により課題解決と進捗の共有に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・甲佐高校の生徒に向けて毎年、現場見学会を実施している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17